



2019年5月15日

各位

会社名：株式会社 三城ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 澤田 将広
 (コード：7455 東証第1部)
 問い合わせ先：取締役ファイナンス担当 中塚 哲郎
 (TEL. 03-6432-0732)

特別損失の計上及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年3月期において、下記のとおり特別損失を計上しましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2019年3月8日に公表しました2019年3月期通期連結業績予想値と本日公表の2019年3月期通期連結実績値について差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社および一部の連結子会社における店舗等の固定資産について、収益性の低下がみられたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として968百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2019年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,895	200	282	△ 986	△ 19.35
実績 (B)	49,689	146	233	△ 1,342	△ 26.35
増減額 (B-A)	△ 206	△ 53	△ 49	△ 356	
増減率 (%)	△ 0.4	△ 26.8	△ 17.5	—	
(ご参考)前期連結実績 (2018年3月期)	50,406	270	463	△ 1,160	△ 22.70

3. 業績予想値との差異が生じた理由

主要子会社であります(株)三城におきまして、不採算店舗の退店を当初計画より前倒しですすめているため店舗数が純減しており、売上高は予想値を下回って推移し、それに伴い営業利益、経常利益も予想値を下回る結果となりました。

また、赤字が継続している店舗につきましては、上記1.のとおり減損損失を計上したことにより、特別損失の計上が予想値を上回り、親会社株主に帰属する当期純利益も通期連結業績予想値を下回ることとなりました。

以上